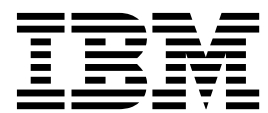


バージョン 10 リリース 0
2017 年 2 月 28 日

IBM Marketing Operations リ リース・ノート

The IBM logo, consisting of the letters "IBM" in a bold, black, sans-serif font. The letters are composed of horizontal stripes, with the "I" and "M" having more stripes than the "B".

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 21 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Marketing Operations バージョン 10 リリース 0 モディフィケーション 0 および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： Version 10 Release 0
February 28, 2017
IBM Marketing Operations Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2002, 2017.

目次

第 1 章 システム要件および互換性	1	第 5 章 既知の制限	13
第 2 章 バージョン 10.0 の新機能と変更 点	3	第 6 章 IBM 技術サポートへの問い合わ せ	17
第 3 章 修正された障害	7	追加の連絡先情報	19
統合システム内の修正された問題	7	特記事項	21
第 4 章 既知の問題	9	商標	23
統合された Marketing Operations-Campaign シス テムの既知の問題	12	プライバシー・ポリシーおよびご利用条件に関する 考慮事項	23

第 1 章 システム要件および互換性

IBM® Marketing Operationsは、IBM Marketing Software 製品スイートの一部として動作します。

- Marketing Operations バージョン 10.0 を使用するには、IBM Marketing Platform 10.0 が必要です。
- レポート作成に関しては、Marketing Operations 10.0 は、バージョン 10.0 の Marketing Operations および Marketing Operations/Campaign のレポート・パッケージを使用します。

インストール手順については、「*IBM Marketing Operations* インストール・ガイド」を参照してください。

以前のバージョンの Marketing Operations をお持ちの場合、アップグレード手順とアップグレード・プロセスでサポートされるバージョンについては、「*IBM Marketing Operations* アップグレード・ガイド」を参照してください。

第 2 章 バージョン 10.0 の新機能と変更点

IBM Marketing Operations 10.0 には、以下の新機能が含まれています。

Marketing Operations 10.0 の新機能と変更点に関する詳しい情報は、Marketing Operations に関する一連の資料を参照してください。

REST で使用可能になった API

IBM Marketing Operations REST API は、実行中の Marketing Operations インスタンスのクライアント・ビューを提供するファサードです。

API は次のタイプの操作をサポートします。

- コンポーネントの作成と削除
- ディスカバリー (コンポーネント・タイプ、属性値、その他の値による)
- コンポーネント検査 (属性、特殊リンク、その他の値による)
- コンポーネント変更

Marketing Operations REST API は外部に公開されています。そのため、この API には、Marketing Operations SOAP API のように統合サービスが必要になることはありません。

リアルタイム個別設定に対する抑止規則を Marketing Operations に直接定義する

Campaign および Marketing Operations の統合を使用して、オファーをリアルタイム個別設定でできるようにし、リアルタイム個別設定に関連しなくなったオファーを抑止するための規則を定義します。

オファーは、Campaign に定義する代わりに、「操作」 > 「オファー」で定義できます。

他の属性に基づいて属性に可視のマークを付ける

オブジェクト・インスタンス (計画、プログラム、プロジェクトなど) では、他の単一選択ドロップダウン属性または単一選択データベース・ドロップダウン属性 (これらの属性であれば、あらゆる組み合わせが可能) に基づいて属性を可視にすることができます。この機能を使用すると、ユーザーがフォームに既に入力した内容に基づいて、入力に必要な属性のみをフォームに含めることができるので、入力フォームがシンプルになります。

他の属性に基づいて属性に可視のマークを付けるには、フォーム・レベルでルールを定義する必要があります。

例えば、ユーザーが国属性のドロップダウン・リストで「アメリカ合衆国」を選択した場合に、州属性が可視になるようにフォーム・ルールを構成できます。

タスクの開始時に開始日と停止日に自動的にデータを設定する

Marketing Operations は、開始日、停止日、あるいはその両方が入力されなかった場合に、タスクに関するこれらの日付をステータスに基づいて計算するようになりました。

新規ネイティブ・マークアップ手書きメモ機能

Marketing Operations のネイティブ・マークアップで、フリー・フォーム手書きメモ、直線、または矢印をページ上に描画できるようになりました。また、正方形と楕円（塗りつぶし、または塗りつぶしなし）も追加できます。「手書きメモ (scribble)」ツールを使用して、これらのすべてのオプションの色を選択できます。

プロジェクト要求側は、承認が完了した要求を変更できなくなった

最初のレビュー担当者がプロジェクト要求を承認した後に、その要求を変更することはできません。最初のレビュー担当者がプロジェクトを承認した後に要求を変更する必要がある場合は、プロジェクトのステータスをドラフトに変更し、変更を行った後にプロジェクトを再送信する必要があります。

カスタム・マイルストーン・タイプを追加してターゲット日付および予測日付を設定する

カスタムのマイルストーン・タイプを追加して、プロジェクト・テンプレートのワークフロー内のすべてのタスクにターゲット日と予測日を設定できます。これを実行するには、START コードを使用してマイルストーンを作成します。次に、プロジェクト・テンプレートを作成します。このテンプレートのワークフローで、このマイルストーン・タイプを 1 つのタスクに割り当てます。このテンプレートを使用してターゲット開始日を持つプロジェクトを作成し、保存すると、新しいマイルストーン・タイプを持つタスクは、そのタスクのターゲット開始日および予測開始日としてプロジェクト開始日をコピーします。その後、これらのターゲット日と予測日は、プロジェクト内のすべての依存タスクに適用されます。

「構成」プロパティのコンテキスト・ヘルプ

「設定」 > 「構成」で構成プロパティを表示すると、「ヘルプ」 > 「このページのヘルプ」を選択してコンテキスト・ヘルプを表示できます。例えば、「キャンペーン | キャッシュ」ページのヘルプを要求すると、すべてのキャッシュ・オプションを具体的に説明するヘルプ・トピックが表示されます。この機能を使用するにはインターネット接続が必要です。

IMS に名前変更された EMM ファイルおよびディレクトリー

「EMM」を含んでいたファイルおよびフォルダーが「IMS」に変更されました。例えば、デフォルトの最上位ディレクトリーは C:\IBM\IMS、インストーラー名は IBM_Marketing_Software_Installer_10.0.0.0_linux.bin、IBM_Marketing_Software_Installer_10.0.0.0.sh、IBM_Marketing_Software_Installer_10.0.0.0_win.exe になりました。

Web アプリケーション・サーバーのシステム・テーブル・データ・ソース接続を作成するためのインストール時の新規オプション

Web アプリケーション・サーバーの **Interact** システム・テーブルへの接続を、インストーラーに作成させることができます。インストール時のデータ・ソース自動作成を有効にするには、「データ・ソースの作成」パネルで、「**Interact** データ・ソースの作成」チェック・ボックスを選択して、アプリケーション・サーバーに関する情報を入力します。

- インストーラーによって、JNDI 名として 「plands」 を使用したデータ・ソースが作成されます。
- WebLogic を使用する場合は、インストーラーによってデータ・ソースが作成されるようにしてあっても、JDBC ドライバーを手動で Web アプリケーション・サーバーのクラスパスに追加する必要があります。WebSphere の場合は、インストーラーがこの作業を自動的行います。

第 3 章 修正された障害

IBM Marketing Operations バージョン 10.0 では、以下の障害が修正されています。

表 1. Marketing Operations バージョン 10.0 で修正された障害

問題 ID	説明
177288	Chrome ブラウザーでは、複製されたプロジェクト上の「プロジェクトの作成」をクリックしても、機能しないことがある。
208558, 195181, 195179	スクロール・バーが正しく機能せず、ドロップダウン・メニューが「予算財務モジュール・タブ (Budget Finance Module Tab)」上に適切に表示されない。
188267	計画ユーザー役割を持つユーザーがプログラムを作成すると、セキュリティー・ポリシーが表示されない。
181942	オファーをルート・フォルダーから表示すると、サブフォルダーで作成された統合オファーが正常に表示されない。オファー所有者がオファー名と重複する。
154980	テンプレートでインポートまたはエクスポートが正確にできない。
209778	グリッド内で依存 SSDB 属性および依存 MSDB 属性を使用すると、グリッドを表示したときに非常に効率の悪い SQL が生成される。SQL に IN 節が組み込まれ、すべての値が列挙される。
171516	プロジェクト・テンプレート規則ビルダーで、最新の規則が 1 つしかない場合、ユーザーはそれを削除することができない。
172268	「カスタム」タブで、依存属性を持つ属性の値を変更すると、タブ全体が最新表示されて、フォーカスがタブの上部に戻る。

統合システム内の修正された問題

以下の表には、バージョン 10.0 で Campaign と統合された IBM Marketing Operations システム内の修正された問題が示されています。

問題 ID	説明
194012	Marketing Operations と Campaign が統合された環境では、名前が 64 文字までの統合プロジェクトしか追加できません。ただし、IBM Marketing Operations の作成要求 API を使用すると、統合プロジェクトに最大 256 文字のプロジェクト名を付けることができます。これらのプロジェクトが UI で編集されると、プロジェクト名は保管時に 64 文字に切り捨てられます。
168569	標準フォームの構成後に Campaign タブが構成された場合、「プロジェクト・テンプレート・セキュリティー (Project Template Security)」タブが正常に表示されません。

第 4 章 既知の問題

以下の表には、IBM Marketing Operations バージョン 10.0 の既知の問題が示されています。

表 2. Marketing Operations バージョン 10.0 の既知の問題

問題	問題 ID	説明
Tivoli Access Manager との統合時に、セットアップで特定のアクションを実行するとエラーが発生する。	該当なし	Tivoli Access Manager との統合時に、特定の状況下において、アプリケーションで特定のアクションを実行すると (フォーム属性の構成など)、「サーバーからの応答が不完全です」というエラーが発生します。
V10 のすべての API で REST API サポートが使用できない。	該当なし	REST API サポートがすべての API でサポートされているわけではありません。V10 でサポートされる API を確認するには、IBM Marketing Operations REST APIs を参照してください。
DB2® v10.1 で、NOT EXISTS によって重複した結果が生成される。	該当なし	DB2 v10.1 を使用するシステムでは、NOT EXISTS 演算子によって重複した結果が生成されます。照会に NOT EXISTS 節が含まれている場合、正しい結果にならないことがあります。 回避策として、 DB2_ANTIJOIN レジストリー・パラメーターを NO に設定し、DB2 サーバーを再始動することができます。次に例を示します。 <DB2-HOME>%BIN>db2set DB2_ANTIJOIN=NO
「前のページに戻る」をクリックするとエラーになる。	1054	セキュリティ権限を持たないユーザーがダッシュボードの「前のページに戻る」をクリックすると、エラーになります。
ローカライズされたユーザーまたはチームをユーザーが選択した場合に、ワークフローの下方向へコピーする機能でエラーが発生する。	71853	英語以外のロケールでは、ユーザー名またはチーム名に特殊文字を含む場合、ワークフロー・ページでセルの下方向へコピーする機能が値を保存しない場合があります。特殊文字には「^」「」「%」「&」が含まれます。
カレンダー・オブジェクトのズーム機能が使用されている場合、現在の四半期および月ごとの値がビューに表示されない。	91722	カレンダー・オブジェクトで、ユーザーが週ごとのビューから、より詳細な時系列のオプションにズームするときに、正しい週の範囲が表示されません。四半期ビューでは、現在の四半期の代わりに第 1 四半期が画面に表示されます。月次ビューでは、現在の月の代わりに 1 月が月次ビューに表示されます。
ワークフロー・デザイナーおよびプロジェクト・ワークフローでのプロセス・フローチャートのレイアウトの問題。	163452	Internet Explorer 10 では、プロセス・フローチャートのレイアウトが正しくレンダリングされません。
依存関係が強制的に適用された承認を、その従属タスクがまだ完了していても、キャンセルできる。	163730	本来は、ユーザーはエラーを受け取り、従属タスクが完了するまで承認を取り消すことはできません。

表 2. Marketing Operations バージョン 10.0 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
「選択した列」に移動した列が、「利用可能な列」に表示されたままである。	163736	「選択した列」に列を追加したら、その列は「利用可能な列」に表示されないはずです。
非アクティブ化によってプロジェクトまたは要求に対して行われることを Marketing Operations がユーザーに通知しない。	166376	Marketing Operations には、プロジェクトまたは要求に対する非アクティブ化の意味についての情報または確認を含める必要があります。
Marketing Operations モバイル上の誤ったアイコン。	171038	Marketing Operations のフォーム、フォーム・タスク、および予算明細項目で同じアイコンが表示されます。
エクスポート・ファイル名が誤ってフォーマット設定される。	174130	プログラムおよびプロジェクトのエクスポート・ファイル名が誤ってフォーマット設定されます。他のタブは表示されません。
ワークフロー・プロセス・ビューにタスクが正しい順序で表示されない。	175909	3 つのタスクが 1 つのタスクに依存している場合、依存関係を表す矢印がユーザー・インターフェースに表示されません。この問題は、Internet Explorer 10 でのみ起こります。この問題は「スプレッドシート・ビュー」では起こりません。
ワークフローで行を削除する操作と元に戻す操作を混用すると、タスクとそのシーケンスがゆがめられる。	175966	ワークフロー編集モードで、タスク一括削除操作を元に戻すと、正常に機能しません。この問題を回避するには、「元に戻す」を使用する代わりに、ワークフローの「キャンセル」ボタンをクリックします。
Marketing Operations-Campaign 統合システムで、特定のケースでオファーが複数回表示されることがある。	176049	特定のケースでは、TCS で「検索」または「削除」をクリックすると、「参照」セクションにオファーの重複コピーができることがあります。
Chrome 37 では「予算バージョン」メニューが自動的に閉じられる。	176713	Chrome 50 以降を使用する場合、複数の予算バージョンを使用しているユーザーが「このバージョンにアクティブのマークを付ける (Mark this version active)」チェック・ボックス上にマウス・カーソルを移動させると、「予算バージョン」メニューが縮小表示されます。
インストール時にデータベース資格情報に大文字を使用するとエラーになる。	176872, 176873	この問題を回避するには、データベース詳細のホスト名とドメイン・ネームを小文字で入力します。
すべてのタブを読み取り専用モードにしてオブジェクトを開くための単一 URL 機能では、開いたオブジェクトが編集可能になるか、タブのセットが全部揃わない状態で表示される可能性がわずかながらある。	172846, 172847, 172489, 172856	この状態としては、単一 URL によって開かれたオブジェクトに含まれるプロジェクトの階層内のリンク、単一 URL によって開かれたウィンドウ内の単一 URL リンク、資産またはアカウント・オブジェクトを指す単一 URL、単一 URL としてクリックされた計画またはプログラム・オブジェクトの「分析」タブ、または「添付ファイル」タブがあります。

表 2. Marketing Operations バージョン 10.0 の既知の問題 (続き)

問題	問題 ID	説明
無効値があると、「拡張検索」ポップアップのユーザー・インターフェースがゆがむ。	177317	無効値があると、検索結果数が誤って表示されます。「拡張検索」ポップアップがゆがみます。
同じ URL 属性を持つ複数のフォームを資産テンプレートに保存すると、5000 エラーになる。	177680	このエラーは計画には関係ありません。
「ユーザー・フォルダー」に「None」が誤って表示される。	該当なし	「None」というラベルの、存在しないフォルダーが「ユーザー・フォルダー」に表示されます。この項目は無視してもかまいません。
ユーザーが属性要素をフォーム・パレットにドラッグすると、それが任意のボタンをクリックした直後である場合、保存したフォームを Safari ブラウザーで編集できない。	220089	この問題を防ぐには、属性要素をフォーム・パレットにドラッグしたあと、ユーザーがボタンをクリックする前にフォーム・エディター・パレットの他の場所をクリックしてから「保存して終了 (Save and Exit)」、「変更を保存」、「プレビュー」、または「キャンセル」をクリックすると、ユーザーがフォームを編集できるようになります。
Safari ブラウザーのマークアップ・ウィンドウで「オリジナルをダウンロード (Download Original)」をクリックすると、ディスク上に正常にファイルが保存される。ただし、ダウンロードするたびに空のタブ・ウィンドウが開く。これは Safari ブラウザーの問題です。	224272	この問題を防ぐには、「オプション」キーを押したまま「オリジナルをダウンロード (Download Original)」をクリックすると、新しい空のタブが開かずにダウンロードできます。また、「オリジナルをダウンロード (Download Original)」を右クリックしてコンテキスト・ポップアップ・メニューを開くこともできます。「イメージを別名保存... (Save Image As...)」をクリックして、目的の場所にファイルを保存できます。新しいタブは開かれません。
XML タグが「アクティブ・プラン (Active Plans)」ウィンドウに表示される。	235781	ユーザーがインストール後に「操作 (Operations)」>「計画」を初めてクリックすると、XML タグが「アクティブ・プラン (Active Plans)」ウィンドウに表示されます。

統合された **Marketing Operations-Campaign** システムの既知の問題

以下の表には、バージョン 10.0 で Campaign と統合された IBM Marketing Operations システムに影響する既知の問題が示されています。

表 3. 統合された *Marketing Operations-Campaign* バージョン 10.0 の既知の問題

問題	問題 ID	説明
Marketing Operations オファーを Marketing Operations からの eMessage 資産へ関連付けることができない。	該当なし	Marketing Operations でオファーを作成し、Campaign で公開する場合、オファーは eMessage でのみ検索でき、アセットへ関連付けることができます。Marketing Operations からオファーを eMessage と関連付けることはできません。

第 5 章 既知の制限

以下の表には、IBM Marketing Operationsバージョン 10.0 の既知の制限が示されています。

表 4. Marketing Operations バージョン 10.0 の既知の制限

問題	問題 ID	説明
ダッシュボード・ポートレットの複数のスクロール・バー	3066	ブラウザー・ウィンドウのサイズを縮小すると、2 つのスクロール・バーを持つダッシュボード・ポートレットが表示されることがあります。 Marketing Operations と Marketing Platform の両方が、スクロール・バー・コントロールを追加します。
アクセント付き文字を含むフォームを追加できない。	8027	ユーザーはアクセント付き文字を含むフォームを「フォーム名」または「テーブル名」フィールドへ追加することはできません。 この問題は修正されました。
Oracle では、フォーム属性ストリングが長すぎると 5000 エラーになる。	175488	Oracle データベースでは、フォーム属性ストリングは 30 文字までに制限されています。この長さを超えると、5000 エラーになります。
誤った資産 URL	177613	資産テンプレートにフォームを追加すると、URL のエラーになる場合があります。
プロジェクトおよびサブプロジェクトを手動でクリアする必要がある	5817	プロジェクト正常性 (月次) レポートを要求する際、「プロジェクト」および「サブプロジェクト」を選択して組み込むことができます。これらのリストのいずれかから値を選択した後、他の選択を行う場合、その選択を行う前に、すべてのプロジェクトまたはサブプロジェクトをクリアする必要があります。
Campaign からのオファーに関係のある関連製品は、Marketing Operations へ移行されませんでした。	62333	Campaign オファーには関連製品の機能があり、Marketing Operations オファーにはその機能がありません。そのため、関連製品は Campaign から Marketing Operations へ移行されません。
コメントが定義された上限を超えると例外になる	DEF062980	データベースによって課された上限を超えるテキスト・ストリングをフィールドに入力すると、データベース例外が発生します。例えば、DB2 データベースを使用するシステムで、1,048,576 より長いプロジェクト記述を保存しようとする、エラーになります。これはデータベース・サーバーによって課される制限です。
Safari ブラウザーがデータ・マイグレーション・ファイルを直接ダウンロード・フォルダーにダウンロードする	DEF063699	Safari ブラウザーで Marketing Operations を使用中にデータ・マイグレーションのインポートを実行すると、宛先フォルダーを指定するプロンプトは出されません。インポートされるファイルは、Safari でダウンロード用に指定されたフォルダーに直接ダウンロードされます。
ユーザーは英語以外の言語のマーケティング・オブジェクトを追加できない	DEF057079	Marketing Operations では、マーケティング・オブジェクト・タイプ名にマルチバイト文字は許可されていません。

表 4. Marketing Operations バージョン 10.0 の既知の制限 (続き)

問題	問題 ID	説明
フォーム名、フォーム属性名、またはテーブル名のフィールドに英語以外の文字が使用されたフォームまたはテンプレートを追加することができない	DEF057100	英語以外の文字を使用したフォームおよびテンプレートのフィールドは保存できません。
プロジェクトがキャンセルされても、プロジェクトの入力が完了していても、ユーザーはタスク・ペインを使用して「要約」タブを編集できる	DEF057121	ページの右側でタスク・ペインがオープンしている状態で、「サマリー」タブでプロジェクトをキャンセルしたり、プロジェクトの入力を完了したりした場合は、プロジェクトがアクティブではなくても、引き続きタスク・ペインでプロジェクト・フォームを編集することができます。
レガシー・メトリック・テンプレートが新規テンプレートにマッピングされると、1 次キー違反になる	DEF057563	Marketing Operations バージョン 8.5.0 で、外部メトリック・エディターがアプリケーション内に移動しました。バージョン 8.5.0 で作成されたメトリック・テンプレートには、タイプ (計画、プログラム、またはプロジェクトに対応する) を指定する必要があります。 Marketing Operations には、バージョン 8.5.0 より前に作成された計画テンプレート、プログラム・テンプレート、またはプロジェクト・テンプレートに使用できるようにレガシー・メトリック・テンプレートが保持されていますが、新しいオブジェクト・テンプレートにはこのタイプ情報がないため、これらのレガシー・メトリック・テンプレートを新しいオブジェクト・テンプレートに使用することはできません。新規の計画テンプレート、プログラム・テンプレート、またはプロジェクト・テンプレートを作成する場合は、同じタイプを持つメトリック・テンプレートを選択する必要があります。新しいオブジェクト・テンプレート内でレガシー・メトリック・テンプレートを使用する必要がある場合は、新しい内部メトリック構成機能を使用してレガシー・メトリック・テンプレートを再作成しなければなりません。
グリッド上のデフォルト日付が必ずしも正しくローカライズされない	DEF057605、 DEF040170	グリッドの日付選択制御は非英語ロケール用にローカライズされないため、一部の非英語言語ロケール (日本語など) の場合、グリッド日付属性のデフォルト値は必ずしもデータ設定されません。
未応答のレビュー担当者は、右側のタスク・ペインからの「保留中」承認を続行できない	DEF057650	レビュー担当者が「保留中」状態の承認に応答していない場合は、右側のタスク・ペインを使用してその承認を続行することができません。タスク・ペインには承認のために「承認」、「変更して承認」、および「拒否」ボタンが表示されますが、「続行」および「キャンセル」ボタンは表示されません。一方、既に承認に応答した承認者は右側のペインから続行できます。 右側のペインのボタンはユーザーの役割 (承認者または承認の所有者) に基づいて決定されるため、このシナリオのようになります。承認者と所有者が同一ユーザーである場合は、承認者のアクションが優先されます。
計算メトリックの式は英語でなければならない	DEF057660	メトリック・テンプレートにメトリックを追加する場合、ユーザーはメトリックを「計画」または「ロールアップ」として指定できます。「式によって計算済み」フィールドに式を入力する場合、その式は英語でなければなりません。ROLLUP の代わりに翻訳された文字列を入力すると、エラーが発生します。

表 4. Marketing Operations バージョン 10.0 の既知の制限 (続き)

問題	問題 ID	説明
メトリック式が検証されない	DEF057726	メトリックに無効な式が指定されると、メトリックを使用するオブジェクト・インスタンスの「トラッキング」タブに入力した値が Marketing Operations によってファイナライズされるときに、例外エラーとなります。有効な演算子とオペランドについて詳しくは、製品資料を参照してください。
データベース・テーブル名で大文字が使用されているカスタム・フォームのグループがアップグレードされない	DEF058551	この制限は、7.5.x から 8.5 にアップグレードし、その後 9.0 にアップグレードする (2 ステップ・プロセス) インストール済み環境に当てはまります。カスタム・グループに属性が含まれ、フォーム・テーブル名に大文字が含まれるカスタム・フォームが正しくアップグレードされません。カスタム・グループは削除され、属性はデフォルト・グループに移動されます。
SSOR/MSOR 属性を追加するとき、「マーケティング・オブジェクト・タイプ」ドロップダウンでオファーを選択できない	DEF059340	Marketing Operations バージョン 8.5 には、Campaign のオファー管理との統合に使用可能なデフォルトのマーケティング・オブジェクト「Offers」(uap_sys_default_offer_comp_type) があります。マーケティング・オブジェクト・タイプ「Offers」を参照する単一選択オブジェクト参照属性が自動作成オプションによって作成されたものである場合、自動作成されるオファーにはいくつかの重要なフィールド (キャンペーン・オファー・コードなど) が生成されないため、問題となります。このようなことに起因する問題を回避するために、SSOR 属性と MSOR 属性には「Offers」の参照が許可されていません。SSOR 属性または MSOR 属性を追加する場合に、「マーケティング・オブジェクト・タイプ」ドロップダウンで「Offers」は選択できません。
オファー・テンプレートのインポートに関する制限	DEF059793	次の場合、オファー・テンプレートはインポートされません。 • 同じ ID のオファー・テンプレートが存在する。 • 同じ ID のオファー・テンプレートが以前に公開されて削除されている。 • 同じ名前のフォームがオファー・テンプレートに使用されている。
承認を拒否するための理由を要求する機能を無効にすることができない	該当なし	ユーザーが承認を拒否するときに理由を要求するように Marketing Operations を構成すると、ユーザーは拒否理由の値を選択しなければなりません。ユーザーがこの機能の使用を開始した後、この機能を無効にするようにシステムを再構成することはできません。
Marketing Operations の単一 URL 構成は、計画およびプログラムの「分析」タブをサポートしない	172856	計画オブジェクトおよびプログラム・オブジェクトの「分析」タブが単一 URL として構成されている場合、これらの URL をクリックすると、計画オブジェクトまたはプログラム・オブジェクトの他の部分にナビゲートするためのタブがユーザー・インターフェースに表示されなくなります。
Marketing Operations-Campaign 統合システムでは、単一 URL 機能の機能性が制限される	177309	単一 URL が構成されたキャンペーン・プロジェクトでは、「実装」タブは表示されません。キャンペーンのタブに単一 URL 機能が実装されていません。
IOS モバイル・システムでの Marketing Operations 承認には、レイアウトの問題がある	178600	IOS デバイスでは、「完了応答の投稿」ボタンとファイル名が見にくいです。

表 4. *Marketing Operations* バージョン 10.0 の既知の制限 (続き)

問題	問題 ID	説明
AcquireLock API は、ユーザーが編集モードで「スタッフ」タブや他のタブを開いた場合でも、例外をスローしない。	166474	IBM Marketing Operations API を使用する場合、オブジェクトに対するタブ・レベルのロックを獲得することはできません。 GUI ではタブ・レベルのロッキングを許可するのに対し、この API はオブジェクト・レベルのロッキングのみ許可します。
DB2 のオーナーとユーザーが異なると、フォームの作成、公開、および使用が機能しません。	19733	この問題は、データ・ソース内で言及されているユーザーが、データベース表を作成したユーザーと異なる場合にのみ発生します。

第 6 章 IBM 技術サポートへの問い合わせ

資料を調べても解決できない問題が発生した場合、貴社の指定サポート窓口が IBM 技術サポートへの問い合わせをログに記録することができます。このガイドラインを使用して、問題を効率的かつ成功裏に解決してください。

貴社の指定サポート連絡先以外の方は、貴社の IBM 管理者にお問い合わせください。

注: 技術サポートは API スクリプトの書き込みまたは作成を行いません。API 製品の実装に関する支援については、IBM 専門サービスにお問い合わせください。

情報収集

IBM 技術サポートに問い合わせる前に、以下の情報を集めておいてください。

- 問題の内容の要旨。
- 問題発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細。
- 問題を再現するステップの詳細。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル
- 製品およびシステム環境に関する情報 (この情報は「システム情報」の説明に従って取得できます)。

システム情報

IBM 技術サポートにお問い合わせいただいた際に、技術サポートではお客様の環境に関する情報をお尋ねすることがあります。

問題がログインの妨げになっていない場合、この情報の多くは「バージョン情報」ページから得られます。このページでは、インストール済みの IBM アプリケーションに関する情報が提供されています。

「バージョン情報」ページには、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択することによってアクセスできます。「バージョン情報」ページにアクセスできない場合、アプリケーションのインストール・ディレクトリーの下にある `version.txt` ファイルを確認してください。

IBM 技術サポートの連絡先情報

IBM 技術サポートへのお問い合わせ方法については、IBM 製品技術サポート Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request) を参照してください。

注: サポート要求を入力するには、IBM アカウントを使ってログインする必要があります。このアカウントを IBM カスタマー番号にリンクする必要があります。アカウントを IBM カスタマー番号に関連付ける方法については、サポート・ポータル「サポート・リソース」>「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照し

てください。

追加の連絡先情報

製品の改善に関するご意見は、IBM (cm_feedback@us.ibm.com) にご連絡ください

製品サポートが必要な場合は、IBM お客様サポート (<https://support.ibmcloud.com>) にお問い合わせください。

また、お客様の地域の IBM 営業所にご連絡いただくこともできます。

USA	
IBM 1001 E Hillsdale Boulevard Foster City, CA 94402 無料通話: 1.866.493.2673	IBM Austin 11501 Burnet Road Building 905, Floor 2 Austin, TX 78758-3400 無料通話: 1.866.493.2673
IBM Dallas 750 W John Carpenter Freeway Irving, TX 75039 無料通話: 1.866.493.2673	
ヨーロッパ	
IBM United Kingdom Limited 3 Furzeground Way Stockley Park Uxbridge Middlesex UB11 1EZ U.K. 電話: 020 8867 8003	IBM GmbH Beim Strohhause 17 D-20097 Hamburg Germany 電話: 0800-180-2597
IBM France 17 Avenue de l'Europe 92275 Bois Colombes Cedex France 電話: 0800 91 4912	
アジア太平洋	
IBM Hong Kong Limited Silvercord Tower 2 Room 907 30, Canton Road Tsim Sha Tsui Kowloon Hong Kong SAR, China Tel: +852 8201 0823 FAX: +852 8201 0832	IBM オーストラリアとニュージーランド 60 Southgate Ave Southgate VIC 3006 AUSTRALIA (オーストラリア) 1800 69 CORE (ニュージーランド) 0800 69 CORE

IBM にお客様のご意見をお寄せください

ご意見をお寄せいただくときは、次の宛先をご利用ください。

IBM Bay Area Lab
1001 E Hillsdale Boulevard
Foster City, California 94404
USA

次のいずれかの方法を使用して、電子的にコメントを送信できます。

通話無料

1+866-493-2673

サポート・センター:

<https://support.ibmcloud.com>

World Wide Web:

www.ibm.com/marketing-solutions/

ご意見またはコメントには、必ず次の情報を含めてください。

- 本資料のタイトル
-

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
B1WA LKG1
550 King Street
Littleton, MA 01460-1250
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で 사용할 수 있지만、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式

においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴ、ibm.com は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

プライバシー・ポリシーおよびご利用条件に関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話の調整やその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザーに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置

することを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明すること、および(3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。



Printed in Japan